

# 釜石市民生児童委員協議会

(平成 26 年 2 月 17 日掲載)

## 1. はじめに～釜石市の被災状況と現在の様子～

### (1) 地域の状況

震災直前の人口は 3 万 9,399 名でした (平成 23 年 3 月 1 日)。製鉄と漁業で栄え、数十年前には人口が 9 万名を超えることもありましたが、製鉄所の本社の合理化、漁業規模の縮小等により人口が年々減少し、高齢化率は 34%を超えていました。地区によっては限界集落や買い物難民の問題も生じていました。大震災後、平成 25 年 11 月末現在の人口は 3 万 6,967 名と、現在でも人口の流出は続いています。

### (2) 釜石市民生児童委員協議会 (以下：民児協) の組織

・ 8 地区 144 名 (定数 147 名)

|         |                   |                       |                       |                     |
|---------|-------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------|
| 津波被害地区  | とうに<br>唐丹 (10 名)  | みなみかまいし<br>南釜石 (16 名) | ひがしかまいし<br>東釜石 (22 名) | うのすまい<br>鵜住居 (18 名) |
| 津波無被害地区 | なかづま<br>中妻 (21 名) | こさの<br>小佐野 (26 名)     | かつし<br>甲子 (18 名)      | くりはし<br>栗橋 (13 名)   |

※被災後に定数を調整した地区 (鵜住居、南釜石、中妻、甲子、小佐野)

## 2. 平成 25 年度一斉改選を迎えて

依然、一斉改選を迎えるにあたっての課題や対応方針などをお知らせしましたが、12 月 2 日に委嘱状交付式が開催され、主任児童委員を含む 144 名の方々に委嘱状が交付されました。残念ながら欠員を全て埋めた状態とはなりませんでしたが、新任の民生委員・児童委員 29 名も地域福祉の担い手としての活動がスタートしました。早速、歳末たすけあい運動の街頭募金活動にも参加し、生活困窮者世帯や震災遺児孤児世帯へ義援金をお届けするために協力を呼びかけました。震災以降の活動は市の復興計画も考慮しながら行なわなければなりません。そのため、地域のために活動する民生委員・児童委員は目先の対応ではなく、5 年～10 年先を見越した支援も必要になってくるのかもしれない。その頃には、今回就任された委員は中堅委員として地域に必要な存在となっていることでしょう。この 3 年間は今後の活動の基礎を築くために新任民生委員・児童委員にとって重要な期間になると思います。



市長から委嘱状が交付される



歳末募金で街頭募金活動

### 3. 終わりに～全国の委員へのメッセージ～

震災後、全国の民生委員・児童委員の皆様を中心に様々なご支援をいただいていることに重ねて感謝申し上げます。今回の改選で、市民児協会長も新たに選任され、新しい体制で活動をスタートすることになりました。今後3年間どのような活動をすればよいのか不安なことも多々ありますが、これまで同様、温かく見守っていただければ幸いです。